



市整会 会報

大阪市立大学整形外科開業医会

No.51 2014年1月10日発行

(医)眞康会 整形外科鳴嶋クリニック
〒594-0071 和泉市府中町7-2-5
ロイヤルフラット和泉 1F
TEL0725-43-8088 FAX0725-43-8010

巻頭言

市整会会長 鳴嶋 眞人

新年あけましておめでとうございます。2011年3月11日の東日本大震災以来、日本は光明を求めて復活に苦闘しております。円安によるみかけの経済成長で一喜一憂しているようではいけません。日本の貿易収支の赤字は増大の一方であり、経常収支の黒字も減少の一途です。過去の遺産に頼るような現実では、日本の将来に不安が残ります。本当の行政改革、規制緩和を行い、少子化に歯止めをかけ、教育改革による日本の底力を発揮できるようにしなければいけません。

市整会は1972年創立より数えて今年42周年目を迎えようとしています。伊藤初代会長より、代々立派な会長と執行部の先生方のご尽力で発展してまいりました。先輩の先生方の功績に感服し、尊敬しながらひたすら日々努めさせて頂いているところです。

市整会にとって今年、大変喜ばしい慶事がありました。谷本吉造先生が「日本医師会最高優功賞」を受賞されました。大変おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

谷本先生は、昭和39年大阪市立大学整形外科教室に入局され、その後生野区で開業されています。先生は、地区社会福祉協議会が実施している老人福祉センターで老人の健康相談、保健福祉センターでポリオ、BCGの接種、大阪市救急医療事業団が行う休日急病診療所への出務、大阪中央地域産業保健センターの産業医による健康相談等、長年に亘り地域の健康管理に貢献されてまいりました。また、平成15年には原爆の存外被爆者への援護に関する法律が施行され、海外からの多数の被爆者が来日した際、その診察を自院で行う等、

国際的な社会福祉活動にご貢献され、ご尽力されたことが認められて、高く評価され今回の受賞となりました。長年の大変な功績が評価されての受賞であり、また、最高の賞であります。市整会にとっても誇りであり、心より先生へ会員より称賛を送りたいと思います。

我々にも日々精進することが課せられたような気がします。

市整会の目的は会員の資質向上、親睦、相互扶助の3点にあります。平成25年11月9日に市整会家族会がありました。43名と多数のご家族の参加を頂き、観光バスは満席でした。

栄西が開祖の京都最古の禅寺である建仁寺で、俵屋宗達の国宝、風神雷神図屏風を見て、禅僧の面白い法話を聞くことが出来ました。その中で神社とお寺の参拝の仕方の違いが大変面白かったので、紹介させていただきます。

神社はまず、自分が現在あること、これまで生きてこられたことを神様に、そして親兄弟、友人みんなに感謝の祈りをします。そして次に願い事をするのではなく、神様と誓いを立てるのだそうです。つまり、自力本願の誓いをたてに神様と約束をしに、神参りをするという事です。次にお寺での参拝の仕方ですが、仏様は大変慈悲深くいらっしゃいますから、仏様に悲しみや苦しみをお供えすると仏様は大変喜ばれるそうです。救いを求めるのではなく苦しみや悲しみをお供えして差し上げてしまう、忘れてしまう、ということだそうです。そしてお金は大変不浄なものですから、全部賽銭箱に捨てて帰ってください、ということでした。なるほど、うまいこというなァーと感心

(2)

して聞いていました。

それから「木乃婦」で楽しい美味しい昼食をすまして、甘春堂での和菓子作りです。

子供を含め、全員が大人も子供の様にエプロンをして、格調高い和菓子作りに奮闘しました。楽しい一日を企画して頂いた厚生福利担当の安田副会長をはじめ、大川先生、木下先生に深く感謝いたします。

平成25年11月16日市整会学術文化講演会では、あいち腰痛オペクリニックの伊藤不二夫先生による講演がありました。空海のダイナミックな人間学を大脳生理学的に分析されて、心と意識の段階的発達をわかりやすく解説され感動しました。先生は100人以上の職員を自立させ教育する手段として11か条の心得を病院（クリニック）の院是として、常に心得るよう職員教育に利用されているようです。是非、市整会ホームページよりダウンロードされ、ご利用して頂ければと考えております。伊藤先生は実は脊椎外科のスーパープロフェッショナルで、今回中村博亮教授より紹介して頂きました。中村教授に心より感謝いたします。

また、中村博亮教授は現在、これからの日本の脊椎外科をリードされる存在であります。

2015年日本脊椎脊髄外科学会に向けて、情熱をもって研究に臨床に励んでおられます。市整会と

しても教室の発展、中村教授のご活躍を応援したいと願っております。

また、医局との関係で市整会の先生方に嬉しい報せがあります。大学と市整会は両輪の輪で、市整会は大学の大きな臨床の裾野を守っていると考えています。大学へ患者を紹介するにあたり、専門的手術治療を要する患者に限って、かつ緊急を要する場合や地域連携室で予約をとっても待機期間が長い場合のみ、医局秘書を通じて専門担当の先生に連絡し、対応していただけることになりました。詳細は本誌の別項およびホームページの「市整会先生方からの至急紹介に対する改善案について」と題した項目を参考にして頂ければ幸いです。

またこのようなホームページの充実やメンバーメールの伝達にITを活用できるようにして頂いた総務の斧出先生、IT委員会の森川先生をはじめ、各委員の先生方に深く感謝いたします。

今年も会員の皆様とともに執行部スタッフ一同協力して、実りある1年になるよう努力致します。皆様、自力本願でいきましょう！

宜しくご指導、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

最後に今年の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



至急紹介に対する対応改善策

市整会先生方からの至急紹介に対する対応改善案について

大阪市大整形外科外来主任である橋本祐介先生より下記の様な緊急を要し、高度先進医療あるいは専門的手術加療を要する患者様について、現状の地域医療連携室を介して予約をとっても待機期間が長くて困り、緊急性を要する場合整形外科医局（06-6645-3851）秘書（下田、岡崎、小川）に

直接に連絡し、その際に患者さんのお名前、年齢、疾患、先生の御連絡先（電話あるいはメールアドレス）を伝えて、至急紹介に対する対応改善策を図る提案を頂きました。

尚、この緊急の紹介は、地域連携室を通常通り通したうえで、緊急性のある事を医局に連絡し新たに予約の枠をとって頂く手順を踏んで頂くことを、付け加えさせていただきます。

市整会先生方からの至急紹介に対する対応改善案について

平素は教職員に多大なるご指導とご鞭撻を賜りありがとうございます。

さて、先日来市整会会員の先生方から、紹介初診患者の外来受診までの待機期間について種々ご意見をいただいております。当大学病院では、整形外科の月間外来受診者数が約3000名、初診受診者数が300名を超えており、病院内では群を抜いてその症例数が多くなっております。これに比例して手術件数も増加傾向にあります。これもひとえに同門、特に市整会の先生方のご協力によるものと深く感謝しております。これからも皆様から数多くの患者様をご紹介頂けるよう、できるだけ風通し良い受診環境の整備をしていきたいと考えております。

しかし一方では受診患者数の増加に伴って、ご紹介後の経過日数、待機期間が増加傾向にあります。この状態を改善するため、特に緊急性があり、迅速な対応が必要と思われる患者様への対応について以下の改善策を検討いたしました。

緊急を要し、高度先進医療あるいは専門的手術加療を要する患者様についてですが、現状の地域医療連携室を介しての連絡ではなく、整形外科医局（06-6645-3851）秘書（下田、岡崎、小川）に直接ご連絡いただければと存じます。その際、各疾患ごとの専門診療担当者に連絡し、担当者不在あるいはその時点の直接対応が困難な場合は、各医師から先生方に後ほど直接連絡させていただきます。つきましては患者さんのお名前、年齢と疾患についてご教示いただき、併せて先生の御連絡先をご教示いただきます（電話あるいはメールアドレス）と幸甚です。なお、この件につきご質問、ご連絡などがございましたら、大学病院外来主任をしております橋本（hussv@med.osaka-cu.ac.jp）までご連絡を賜りましたら幸甚です。ご多忙中にも関わりませぬ。お手数をとらせて申し訳ありませんが、よろしくご高配をいただきますようお願いいたします。

大阪市大整形外科外来主任 橋本祐介

今年1年を振り返って

平成25年(2013年) 学術講演会をふりかえって

学術担当 宮内 晃

1月12日(土)

新年会 於：ANAクラウンプラザホテル
(エーザイ共催：参加 講演会33名 新年
会32名 ご家族15名)

学術講演「関節内軟部組織損傷を考察する
ー市大スポーツグループの方向性ー」
座長：増田 博先生
大阪市立大学大学院医学研究科
整形外科講師 橋本 祐介先生

市整会新年会に先立ち大学の橋本先生から膝の痛み、その対処法、ビデオで関節鏡手術の概要等の講演を頂きました。また、円板状半月の症例を紹介いただきたい旨ご要望があり、その後多数の患者紹介があったとお聞きしております。大学と市整会の連携・関係強化の端緒となりました。橋本先生は大学の外来診療責任者を担当されています。これまで、患者の大学紹介は手続きが煩雑で長期の待ち時間を要してきましたが、その解消にご尽力下さいました(詳細は別掲)。

3月9日(土)

学術講演会 於：リーガロイヤルホテル大阪
(小野薬品共催：参加 会員53名 同門会
員30名 非会員58名 合計141名)

「超音波画像を用いた整形外科3分診療の実
際」 座長：増田 博先生

城東整形外科 診療部長

皆川 洋至先生

「骨粗鬆症治療薬ラッシュの中での各製剤の
包括的レビュー 使い分けて骨折を予防す
るためにー」 座長：佐藤 哲也先生

東京大学 整形外科 准教授

川口 浩先生

皆川先生は、解剖知識の重要性を強調された上で、レントゲン、MRIなどの画像診断では従来把握できなかった病態をエコー検査を用いることで可視化できることをお示しいただきました。動画を用いた講演で、肘内障、手根管症候群、腱鞘炎などの症例をご提示いただきました。技術、保険診療の壁、など問題がありますが、導入をそそられる講演でした。

川口先生は、骨粗鬆症、骨量、骨強度、骨代謝回転のお話からはじまり、現在多種存在する薬の長所や使い分けの考え方をご講演くださいました。

関連病院の、東住吉森本病院、島田病院の病院紹介もありました。

3月 市整会40周年記念誌発刊

(市整会誌との合併号)

4月27日(土)

市整会総会 天王寺都ホテル

(旭化成ファーマ共催：出席34名 委任状86
枚 会員数202名)

学術講演「関節軟骨の分化制御と機能維持」

座長：増田 博先生

大阪市立大学大学院医学研究科

整形外科病院講師 大田 陽一先生

総会に先立ち、大学の太田先生の講演を頂きました。ロックアウトマウスを用いた実験の話から、関節軟骨の機能維持、修復にまつわる分子生物学的アプローチをお話いただきました。変形性関節症は手術ではなく、予防できる時代の到来を期待させる内容で、臨床だけではなく研究の分野でも最先端のご活躍ぶりが伝わって

きました。

6月8日(土)

学術講演会 於：天王寺都ホテル（田辺三菱

製薬共催：参加 会員47名 同門会員28名

非会員42名 合計117名)

「関節リウマチの臨床」座長：小竹志郎先生

大阪市立大学大学院医学研究科

整形外科准教授 乾 健太郎先生

「プライマリ・ケアにおけるうつ病診療」

座長：飯田伊佐男先生

東大阪市立総合病院

主席部長 岸田 学先生

「整形外科医に知って頂きたい神経内科疾患」

座長：宮内 晃先生

京都府立医科大学附属北部医療センター

センター長 中川 正法先生

大学の乾先生にはリウマチの診断、治療方針、最近の話題について網羅して頂きました。

岸田先生には、近年従来ものうつ病に分類されない新しいタイプのうつ病が話題になっていること、エスシタロプラムがプライマリーケアの第一選択になりうる可能性について話題提供を頂きました。

中川先生には、神経内科疾患を有する患者が、整形外科を受診することが多い事実をご指摘。パーキンソン病やALSの患者が関節痛を主訴とすること、脳梗塞で下垂手下垂足を呈する可能性、Crowned dens syndrome、HAM、周期性四肢麻痺などの疾患の解説、リハビリの重要性についてご講演いただきました。日整会誌87巻(10)916-925、2013にも同様の内容が記載されています。ご参考下さい。

11月16日(土)

学術文化講演会 於：梅田スカイビル（日本

臓器共催：参加 会員43名(家族1名)

同門会員44名 非会員6名 合計93名)

学術講演「整形外科領域の最新のMRI画像

診断法」座長：増田博先生

帝京ちば総合医療センター整形外科

准教授 渡辺 淳也先生

文化講演「大脳生理学からみた空海のダイナ

ミックな人間学」座長：鳴嶋 真人先生

伊藤整形・内科 あいち腰痛オペクリニック

院長 伊藤不二夫先生

渡辺先生は、最近のMRI技術の進歩のお話をされ、特殊な撮像方法によって、軟骨中の水分含有量、コラーゲン配列の異常、プロテオグリカンの含有量、などの評価が可能となり、軟骨の変性、椎間板の質的評価、神経走行の異常が可視化できることを示されました。

伊藤先生は、数多い空海の著書の中から人の心のあり方を十段階に分けた十住心論をとりあげ、脳の発達・生理と関連付けた講義をなされました。最高境地であるところの第十段階、秘密荘厳心を目指し、平和、協調、共生、ハーモニーある世界の実現をと締めくくられました。

各回の詳細や講演の資料などは、市整会ホームページにIT委員の尽力で記載されています。聞き逃した、内容を忘れた、などの際ご参考下さい。

リウマチ、骨粗鬆症や慢性疼痛の話が最近のトピックスのようで、各地ではこれらを取りあげられた講演会が頻繁に行われている印象があります。市整会学術では、時代に遅れることのないように、しかし、日常診療に密接に関連した内容を取り上げようと苦慮しているところであります。画像診断の進歩、誤診のないように他科との境界領域の疾患、大学との関係強化、などをコンセプトに演題選択に努めております。ご要望などございましたら、ご意見をドシドシお寄せ下さい。

本年の上半期の予定は下記の如くです。会員先生方の多数のご参加を御待ち致しております。

H.26.1.11.(土)

市整会新年会および特別講演会

於：ANAクラウンプラザホテル

H.26.3.8.(土)

市整会学術講演会 於：リーガロイヤルホテル

H.26.4.26.(土)

市整会総会および特別講演会

於：天王寺都ホテル

2013年を振り返って

総務、IT担当 森川 献志漢

僕のような、若輩者の、乱筆をお許してください。
平成25年という1年を振り返り、ホームページの事を書かせて頂きます。いままでは、特定の先生方からしか書き込みを頂けておりませんでした。ですので、もっと多くの先生方が利用して頂き沢山の書き込みをしていただければいいようなホームページを目指しました。

そのホームページで目新しく更新したことを列挙させていただきますと、

- ① 概要の所に市整会役員の項目を追加
- ② 市整会の歩みで阪本邦雄先生の書き込んでくださった歩みに、それ以降である平成20年以降の歩みを斧出先生からいただき、追加
- ③ 会員のページでは動画をまじえ整形ソングを紹介
- ④ 市整会行事カレンダー
- ⑤ 周年事業の記録
- ⑥ 学術講演会の記録

⑦ 思い出写真貯蔵庫の欄で40周年記念祝賀会の写真や学術講演会の際に頂いた病院紹介資料をアップ
等、色々ありますが、これらも鳴嶋会長を含め執行部の先生方の御協力があり出来たことです。この場をお借りしてお礼申し上げます。

上記の如くだらだらと列挙させて頂きましたが、その時々に応じ必要と思われる事を先生方から助言を頂きホームページの更新といった形で行ってきたつもりです。自分のアイデアからの発信はほとんどなく、私の考えの貧困さを痛感いたしました。

来年度からもたくさんの先生方から助言をいただき、愛される市整会のホームページを運営していきたいと思っておりますので今後とも宜しくお願い申し上げます。



平成25年の福利厚生事業を振り返って

福利厚生担当副会長 **安田 浩成**

- 平成25年の市整会福利厚生事業としては
- 7月28日(日) スケルトンゴルフコンペ(花吉野カントリー倶楽部)
参加人数:31名(勤務医 5名)
 - 11月10日(日) 家族会(京都)
参加人数:43名(会員19名)
 - 12月8日(日) 市整会ゴルフコンペ(泉ヶ丘カントリー) 参加人数:26名

が行われました。

スケルトンゴルフコンペは勤務医の先生方との交流を深めようとの趣旨で行っており、勤務医の先生方にも参加をお願いしているのですが、最近勤務医の先生の参加が少ないのが残念です。ただ今回は済生会中津病院の大橋弘嗣先生が参加してくれて若い先生も連れてきてくれました。今後も勤務医の先生方の参加を増やしていきたいと思えます。

今回のスケルトンゴルフコンペは暑さもまして、いいスコアが続出し、その中で伊藤智康先生が優勝されました。

市整会ゴルフコンペはいつも12月の寒い日に行っていますが、今回は天気にも恵まれ、穏やかな中で楽しく行われました。鳴嶋会長が素晴らしいニアピン賞をとられました。優勝は田中直史先生でした。

ゴルフの運営は、長濱信一先生、田中直史先生、上野憲司先生、湊康行先生が担当してくれています。いつもありがとうございます。

家族会は大川得太郎先生と木下裕介先生が担当してくれています。特に大川先生が中心になって運営してもらいました。平成24年が40周年記念事業のために家族会は行われず、今回彼にとって初めての家族会の運営となりました。

6月下旬に行程を決め、8月に案内の準備、9月に案内の郵送、10月に参加者が決定し、参加者への最終案内の郵送、その間に旅行社との詰め、そして家族会当日の運営、最後に会計処理といろいろな仕事を難なくこなしてくれました。

今回の家族会では、参加者も43名と多く、建仁寺で僧侶の楽しい説明を聞きながら見学し、昼食は木乃婦でおいしい料理をゆっくり皆と楽しい話をしながら食べ、甘春堂の和菓子作り体験では夢中になり、参加者全員楽しい1日を過ごせました。

大川先生、木下先生、ありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いします。

会員の皆様、スケルトンゴルフコンペ、市整会ゴルフコンペそして家族会にこれからもどうぞ気軽にご参加ください。楽しい1日を過ごしてください。

市整会家族会を企画、参加して

福利厚生担当理事 **大川 得太郎**

市整会家族会に、私は今回初めて参加しました。初参加でありながら福利厚生理事として、家族会の企画をさせて頂くということで、大変心配しておりました。あまり話したことのない先生方の中に入って、ご迷惑かも、浮いてしまうかもと考え、今まで参加したことがありませんでした。安田先生に助言を頂きながら、何とか無事終わることができ、安堵しております。

鳴嶋会長より、今年はNHK大河ドラマの「八重の桜」にゆかりの京都にしたい、できれば新島八重ゆかりの地を訪れたいとリクエストを頂きました。家族会予定の11月10日は、同志社大学同窓会の催しがあるため、残念なことに同志社大学関連施設が全て利用できないことが分かりました。当てにしていた旧新島邸(新島八重の自宅)、同志社大学資料館のニイジマルームも全て利用できず、

(8)

本当に困りました。新島襄と八重の墓参りも考えましたが、山道を30分以上登る高台にあるそうで、少し困難と判断し、結局、苦肉の策で建仁寺にしました。新島八重は茶道の師範として同志社大学で教鞭をとっていたそうで、自宅には茶室を作り、月に3度お茶会を開いていました。建仁寺の和尚・竹田黙雷はそのお茶会での友人で、八重も茶祖の栄西が開いた建仁寺へ足繁く通っていたそうです。これにより、新島八重の禅宗改宗疑惑とニュースにもなったことがあるという事で、今回は八重が愛した建仁寺にしました。建仁寺は風神雷神図を始め、双龍図、枯山水など見所もあり、また写真がどこでも可能というのも魅力でした。

8月に京都に下見がてら家族旅行に行った際に、和菓子づくり体験をして結構楽しかったので、安田先生と相談して入れることにしました。

今回、市整会家族旅行の案内を郵便で送るのが、結構大変なのに驚きました。200名の会員に案内を送るのはパソコンで宛名シールを作っても、かなりの手間です。いつも何気なくもらっていた市整会の案内が各担当の方の努力によって成り立っているのを再認識しました。案内を送った後は、参加のファックスがどの程度届くか、とっても心配でドキドキしていました。不参加のファックスが20通くらい続けてきて、本当に暗くなりかけた時に、鳴嶋会長よりの参加のファックスを受け取り、大喜びしました。職員にも、不参加のファックスが多い事が知れ渡り、家族そろって参加されるファックスが来た際には、職員も声を上げて『先生、今日は大量ですよ！』と一緒喜んでくれました。最終は43名参加と、バス一台満席となりホッとしました。ただ、当日は阪神高速池田線が全面閉鎖で工事中であることと、秋の京都はかなり混むことが多いそうで、渋滞が心配でした。

当日は、あいにくの雨でしたが、小雨くらいで、土砂降りになることもなくホッとしました。難波の貸し切りバス待ち合わせの場所は、私も初めてで、市整会のバスだけと考えていましたが、他のバスも多数停まっており、また市整会諸先生のお顔も知らない事もあり、他の先生に聞きながら市整会の先生方を誘導する形になり、ご迷惑をおかけしました。市整会の垂れ幕や旗などを作っておけば良かったと反省しました。朝は安田先生、木

下先生とバス内での飲食の買い出しに近所のコンビニに行きました。安田先生が、ジュースとビールをかなり大量に買われて、こんなに朝から飲まれるのか？と、疑っておりましたが、途中で無くなって買い足すことになり、びっくりしました。安田先生によると、今回はバスの時間が短いのでいつもよりかなり少なめとのことで、市整会の先生方の豪傑ぶりに驚きました。大きな渋滞も無く京都に着き、また雨もひどくならず、建仁寺観覧になりました。ところが、茶道裏千家の貸し切りの催しのため、建仁寺観覧入り口が閉鎖され、他の入り口より観覧になっており、通常なら観覧方向が決まっているので迷子にならないのですが、市整会の観覧が2組に分断されてしまいご迷惑をおかけしました。建仁寺の和尚さんが案内して下さるグループは、双龍図の制作苦労話や、株式会社キヤノンの名付け親が建仁寺の和尚さんであり、最初は観音(KANON)であったが、海外進出のためにCANONになったことや、これを縁に風神雷神図や襖絵のレプリカ(数千万円の費用が必要)をキヤノンが無料で作ってくれたことなど、短時間で楽しい話を聞けました。市整会の旗などを持っていればもっときっちり案内できたのにと、残念でした。

木乃婦の料理はおいしかったです、やはり木乃婦でしか味わえないもの、今まで味わった事がないものが一品ほしかったです。宮脇先生によると、アワビかフカヒレの料理が付くことが多いとのことで、それが松茸の土瓶蒸しに変わったのかもしれない。また、料理もゆっくり出てくるので予定の食事時間をオーバーしてしまい、次の錦市場での買い物をキャンセルすることになり、ご迷惑をおかけしました。

最後に和菓子づくり体験です。結構テーブルが狭くて、大変でしたが、先生方もご家族とともに楽しんで頂いているようで嬉しかったです。両手をアルコール消毒した後は、手術の手洗いの後のポーズをとり、また整形外科の先生方はやはり手先が器用な方が多いと感じました。『歳をとると作業療法が必要だ、和菓子づくりは、作業療法になっていいね！』という声もあり、私の妻がとっても気さくで、楽しい先生が多いので驚いたと言っていました。

今回、初参加、初企画と言うことで、不安いっ

ばいでしたが、楽しい日帰り旅行を無事終えることができ、ありがとうございました。私は市大整形外科の開業医同門会である市整会というものが、これ程強い絆があるとは、思ってもみませんでした。開業してから、人との付き合いが希薄化して

いるように感じておりましたが、地域の医師会の催し以上に、自分の殻を捨てて話ができる会が、市整会の様な気がします。若い先生方、未参加の先生方も、是非、来年の市整会家族会の参加を心よりお待ちしております。



福利厚生担当理事（ゴルフ）

長濱 信一
田中 直史
上野 憲司
湊 康行

今年度のスケルトンコンペは7月28日に花吉野CCで、市整会コンペは12月8日に泉ヶ丘CCで行われました。夏のスケルトンコンペは薄曇りでそれほど暑くなく、また冬の市整会コンペも晴天で暖かく、両コンペとも比較的恵まれた天候のもとで行われました。スケルトンコンペでは済生会中津病院、清恵会病院、島田病院から計5名の勤務医の先生に参加していただきました。夏は全体的に好スコアの方が多く、冬の市整会コンペは難コースのためか皆さんスコアが振るわなかったようです。10位までの順位表は以下のとおりです。

今年度もたくさんの先生方に参加していただき、誠にありがとうございました。なお当コンペは上限なしのダブルペリア方式で行っておりますので、スコアの内容によってどなたでも上位入賞のチャンスがあります。また飛び賞なども通常より多く設定していますので、賞が当たる確率も高くなっております。もっと多くの先生方に参加していただきたいと思っていますので、あまりゴルフが上手でないからとか初心者だからと尻込みされている先生方も是非お気軽に参加して下さいようお願い申し上げます。

第20回スケルトンゴルフコンペ順位(敬称略) 参加者31名

		OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	伊藤 智康	42	41	83	12	71
2位	本田 泰郎	39	38	77	4.8	72.2
3位	小竹 志郎	43	46	89	16.8	72.2
4位	大草 良夫	40	40	80	7.2	72.8
5位	西口 豊憲	52	47	99	25.2	73.8
6位	吉田研二郎	48	41	89	14.4	74.6
7位	豊川 英樹	40	41	81	6	75
8位	山藤 修輔	48	50	98	22.8	75.2
9位	田中 直史	41	44	85	9.6	75.4
10位	金田 国一	45	39	84	8.4	75.6

第22回市整会ゴルフコンペ順位(敬称略) 参加者26名

		葛城	岩湧	GROSS	HDCP	NET
優勝	田中 直史	46	49	95	25.2	69.8
2位	岩城 啓好	50	45	95	24.0	71.0
3位	林 正樹	46	44	90	18.0	72.0
4位	山藤 修輔	51	48	99	26.4	72.6
5位	長濱 信一	44	48	92	19.2	72.8
6位	大草 良夫	45	45	90	16.8	73.2
7位	喜馬 秀樹	45	51	96	22.8	73.2
8位	増田 博	55	56	111	37.2	73.8
9位	豊川 英樹	37	41	78	3.6	74.4
10位	原 好延	44	49	93	18.0	75.0



2013年を振り返って

広報担当理事 宮脇 裕二

昨年は40周年記念誌の発行という大きな仕事があったわけですが、私としてはもう少し内容を充実させたかった感があります。会員の先生方に多数のご投稿をいただき誠に感謝の次第であります。ただ残念であった事はもう少し若い世代の先生方の投稿を頂戴したかったという事です。記念誌は今となっては遅いので、市整会会報の方にどしどしご投稿をいただいて、来るべき45周年記念誌の方にも投稿をいただければと思います。

記念誌の反省点としては、

- 1) もう少し斬新な企画が欲しかった。
- 2) 投稿をいただいた先生方にサプライズの方が少なかった。
- 3) 記事の中にももう少し写真を入れたら良かっ

た。

- 4) 記事の中の写真は少ないのでカラーにしても良かった。

等いろいろなご意見をいただきました。広報としては次の記念誌の編集に生かしていきたいと思えます。

会報の方ですが、なかなかいい企画が無くて苦慮しているというのが現状です。投稿メンバーが固定化してしまっている傾向があるとの指摘も受けておりますので、決して自由投稿を断っているわけではありませんので、ぜひともご投稿よろしくお願いいたします。



平成25年度 市整会家族会に参加して

桑野 吉浩（平成4年入局）

前日の天気予報では、11月10日は弾丸低気圧が通過する悪天候とのことで、少し気持ちもふさぐような状態でした。

大変心配しましたが、朝起きてみると、小雨程度でまずは、ほっとしました。朝7時に自宅を出発。家族3人電車を乗り継ぎ、8時20分の集合時間の少し前に到着。ほとんどの先生方が、既にバスに乗り込まれていました。

参加人数は、43名で（家族会としては最多??）8時35分に集合場所の難波を出発、阪神高速池田線が通行止めの為に第2京阪経由で京都に向かうことになりました。バスの中で、今回の行き先は、鳴嶋会長の意向もあり、NHKの大河ドラマ「八重の桜」にまつわる観光地とのことで、福利厚生先生方が選考されたことを聞きました。

ここで、建仁寺と大河ドラマの八重の桜との接点について、少々

大河ドラマに取り上げられている主人公の新島八重は晩年、茶道と禅に癒やしを求めていたようで、茶会を通じて建仁寺の僧侶「竹田黙雷」と知り合ったのです。元来キリスト教徒であった八重は仏門に帰依するのではないかと邪推され、キリスト教界や同支社関係者の一部から疑念を抱かれ、中には因習を突破していく八重の行為を面白くなく思う人もいました。そんな中、八重は「ひとつの宗教に籍を置いているからといって、他の宗教のお話を聞いてはいけないということにはならないでしょう」と相手しなかったそうです。

八重が仏教に帰依したとしてキリスト教界を揺るがせたのは、1930年（昭和5年）ごろのことであり、死ぬ2年前でも世間を騒がせる辺りは、大河ドラマの主人公の像にみられるそのものと言えます。

<建仁寺にて>

第2京阪道路、阪神高速京都線から建仁寺に向かいます。渋滞もなく、途中、京田辺SAでトイレ休憩の後、鴨川西で高速をおりて10時頃には、建仁寺近くに到着。そこからバスを降りて小雨の中京都の町を少し歩くと建仁寺です。

来年800年を迎えるにあたり方丈の屋根は創建当初のこけらぶきの姿に復元されたところで、覆いも外れ、タイミングはばっちり。建仁寺は、あの依屋宗達の有名な「風神雷神図屏風」のある禅寺ですが、京都で最初の禅寺であるということは初めて知りました。ここにある風神雷神は、レプリカで本物は京都博物館にあるとのこと。うちの子供には、値打ちがわからず、どんどん先に進んでしまい、私はゆっくり鑑賞できず、少し心残りではありません。パンフレットによると○△□乃庭はそれぞれ水、火、地を表し、宇宙の真理・成り立ちを表したとのこと



【建仁寺・風神雷神図屏風】

<http://www.kenninji.jp/gallery/index.html>

(12)

です。また、双龍図は、天井一面に描かれていて、圧巻でした。

また、建仁寺の一部を貸し切りの茶会があり、拝観できないところもあり、秀吉の茶室などがみれず、とても残念でした。

平日であれば、静寂で趣のある空間なのだろうなあ…と、休みの取れない因果な家業を…

<京料理木乃婦>

11時に建仁寺を後にして五条大橋をわたり弁慶義経の像を横手にみながら、京料理木乃婦に到着。

木乃婦は、前評判通りの素晴らしい京料理で、料理はもとより、器の美しさに、ただただ感嘆の言葉がでるのみでした。僕なんかは、土瓶蒸し（それもハモと松茸入り）を初めて食べたのは、大人になってからでしたが、子供には少し贅沢と思いましたが、これも経験ということにして

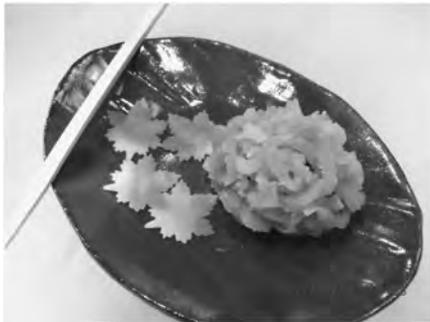
始めに出てきた、燭台のような器は、家にあつたらまた趣もあって食事が進むのでは、といわれる先生もいるほどでした。次々に出される食事の内容とおいしさに時間を忘れてそれぞれのテーブルが盛り上がりを見せ、（やはりおいしい食事は、会話を弾ませるんだなーと思いました。）時間の過ぎるのを忘れ、最後のデザートの際には、もうお腹が一杯という感じで、大満足のひとときでした。

食事の最後に記念に全員で集合写真を撮り、出る頃には時間が押ししており、錦市場の買い物は、残念ながら中止。



<和菓子作り体験>

そのまま、和菓子作りの甘春堂に直行いたしました。前掛けをして席に着き和菓子の作り方を教わりながら、4種類の和菓子を作りました。子供は、作ることに夢中で楽しんでいました。周りの先生方も、皆さん子供のように夢中になってできのいいのをほめ合ったり、うまくできず苦労して作ったのをみて、みんなで突っ込みが入ったりして、和気あいあい、とても楽しい時間を過ごしました。



帰りのバスも、渋滞にまきこまれることなく予定通り6時ごろに無事到着し楽しい家族会の一日が解散となりました。

最後に、この家族会を計画された福利厚生の方、陣頭指揮された大川先生に心より感謝申し上げます。

果物あれこれ

藤原 良江（昭和44年入局）

市整会から、又また原稿依頼がきました。「何で年に2回も書かなあかんの?」「編集員会でぜひ書いて頂くとなりました」「うそや!誰かの陰謀に決まっているやん。どうせあんたが、書き手がないから安請け合ひしてきたんやろ?」と、妻鹿良平医師に文句を言いつつ結局書く破目になりました。(チクショウ!)

《果物》……男性諸氏はあまり果物に対して興味が無いかも知れません。もともと男性は包丁を使うことが少ないために、果物を食する機会がないと思っています。ところが私が「これいかがですか?」と、売りつける果物は大抵美味しいので翌年や次回に殆どが予約をしていただけます。

柑橘類……大学生までは紀州や温州みかんを沢山食べて手掌が黄色になっていましたが、現在は皮の柔らかいみかんを私は、ほとんど食べなくなり、セトノカやデコポンも食べなくなりました。私の好むのはやはり皮の硬い、晩白柚(バンペイユ)、文旦(ブンタン)、メロゴールドです。

晩白柚(バンペイユ)……熊本県八代産で、大正9年、台湾総督府に勤務されていた、熊本県出身の植物学者の島田弥市氏により、原産地のマレー半島から台湾に輸入されていたものを、島田氏の好意により、熊本県果実試験場において試作された結果、八代地方の気候に適していることが判りました。現在では熊本県の柑橘類奨励品種の一つとして、商品価値の高い果実になっています。また、八代地方では自然落下した小さな物は、地方名物として露天風呂に沢山浮かべてあるそうです。さらに、4858gの晩白柚が柑橘類ザボン区分で重量世界一として認定されているそうです。

私は直径20cm程度のものを市場で求めます。大体2kg強あります。12月1日が発売開始日であるので、この日はやや値段が張るので1週間ほど後に買い出しに行きます。12月25日頃まで大体5~6回は買い出しに行き、毎年300~350個は購入しています。毎年9月頃に取引先の社長さんに「今年もよろしく!」と頭を下げていくと、「そんなようけ、調達できるか!」と、毎年どやされま

す。「そこを12月25日までで、よろしいから何とか頼みます」と、お願いします。市場というのは大阪市中央卸売市場東部市場で、大阪市東住吉区にある青果・水産物とその加工品や加工食料品を扱う大阪市中央卸売市場の1つである。杭全交差点より200m北東にあります。1箱に5個入っていて、私の車には10箱位しか積めません。30箱位はその場で宅配してもらいます。これだけ買っても私の手元には1箱残すのがヤツです。この晩白柚は常温で2~3ヶ月は持ちます。その間、部屋の何処かにおいて香りを楽しむのがいいでしょう。多くの人は正月、沢山の家族が集まった時に食するらしいが、2月~3月に食するのが美味です。その時期に食した人は「あんなに美味しいとは、しらなんだ!」と。私の今までの最高値は1050円(卸値)である。これと同じものが阪神百貨店で3500円で売っていました。2月に入るとこれが3000円となり、中頃には2500円になります。それを見た看護師や、医師たちも「この値段でいいのかな?」といいつつも、いまだにガソリン代を足してくれる人はいません。晩白柚を食した人は、その果皮の厚さに驚き、その下の白い軟らかい内果皮に、さらに驚きます。果実は大きい形のまま剥けるのに感激を覚えるといえます。

今年、平成25年は異変が起っています。いつもの2Lの大きさが入荷しないのであります。入荷はL寸で、1箱に6個が入っています。2Lを知っている人は、L寸を嫌がります。200~300円の違いですので、やはり大きい方を希望されます。12月10日現在一つも入荷しないので、気を揉んでいる所であります。

文旦(ぶんたん)……高知県の特産品であるが、熊本や天草でも収穫されています。しかし、高知県産が一番美味しいと思っています。2月の初めの頃から出回りますが、中旬よりさらに美味しくなります。10月に水晶文旦がありますが、温室物で美味しいですが高価でもあります。木成りの文旦に比べて2倍の値段がついています。これはみかんと比べると、皮は厚く硬いです。しかし、一

(14)

度食べると忘れがたい味であります。

メロゴールド……米国カリフォルニア産であります。平成24年2月にこれを初めて知り、非常に美味しかったです。これも12月より出回るが、2月下旬が最も美味しいです。平成25年2月に妻鹿良平医師に無理やり1箱買わせたが、あまりに美味しかったので、すぐにインターネットで注文したが美味しくなかったと悔しがっていました。(ザマーみろ)

文旦もメロゴールドもゴールデンウイーク前に店頭にある限りを買ひ込みます。これを二つの冷蔵庫に保管し、毎年8月まで楽しむのが私であります。

8月下旬から9月に入るといろいろ楽しみが増します。徳島の豊水、信濃の幸水、中旬には鳥取の燦(さん)世紀、下旬には広島世羅の豊水があります。

燦世紀……21世紀の梨ですか？ときかれますがこれは20世紀を収穫1ヶ月前に通常、傷や病害虫から実を守るために、途中で果実に袋を被せて育てますが、この袋を被せず太陽に燦々と当てることで糖度を上げ、より甘い梨にしたものを燦世紀梨としてJA鳥取が商標登録し、出荷しています。表面は2mm台の白斑が無数にあります、とても美味しくこれを食べると20世紀梨はまずくて食べられなくなります。

王秋……11月下旬から店頭に出ていて、鳥取産です。同じ鳥取産の愛宕(あたご)梨を頂いたことがあります、水分が少なくサクサクして不味かったです。王秋は鳥取産と聞いただけで敬遠していましたが、味見させてもらおうと非常に美味だったので10箱購入し、あちこちに送りました。翌日より「美味しかった」と電話がありました。

11月に入るとリンゴが出回ります。シナノスイート、シナノゴールド、サンフジが私の推奨品であります。

シナノスイート……信濃産であります、評判がよいので2年前から青森に苗を移植して青森さんも出回っています。

シナノゴールド……青森産が出回っています。スイートは濃紅色、ゴールドは黄色です。リンゴは蜜入りを求める人が多いですが、蜜入りのところを切除して食することが多々あるので私は買いません。今年のスイートは高かったが美味でし

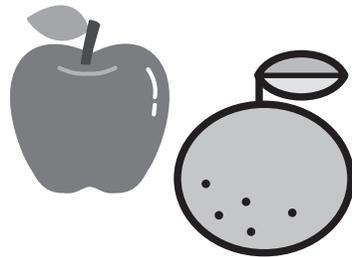
た。ゴールドはスイートより劣っていました。ゴールドは2月頃又出荷されるのでその頃を楽しみにしています。

サンフジ……昨年までは山形産が美味しかったです。今年山形産は小さいものしか出回っていません。先日信濃産を買いました。これも美味しかったです。秋田産、青森産はなんとなく敬遠しています。しかし今後、味見をして美味しかったら買うと思います。

なじみの購入先の商人は、私が素人であることを知っていますが、買う数量が大きいので黙って売ってくれます。

中には足許をみて高くいう商人もいますが、そのときは「考えて又出直します」と去ります。服装は「おぼはん」そのままの格好で行きます。言葉も大阪弁丸出しです。私は購入したそのままの値段で皆様に販売します。ただし9円以下は繰り上げています。自分が美味しいと納得するものしか買いません。私から買う人は「新鮮、美味しい、安い」で満足してくれるものと思っています。だから私は「これも一種の奉仕でしょう、神様はきっと私を健康で認知症がなく長生きさせてくださるのだらう」と……。

今後も日本の、世界の美味しい果物を求めていくのでしょうか。そして市価の二分の一の値段で皆さんに分けていくのでしょうか。しかし医者には患者さんから頂くことが多いのでお金を出してまで食べようとされないのが残念でなりません。お金を出して美味しい果物を食べたいと思う方は私に一声かけてください。ちょっとした参考になるかもしれませぬ。期待せずに待っています。



空手道との出会いは人との出会い

斧出 安弘（昭和56年入局）

私の、空手歴を振り返ってみたいと思います。昭和50年19歳で、川崎医大に入学。その当時、ブルース・リーの「燃えよドラゴン」を観て、空手に憧れて、空手道部に入部。高校まで、運動したことがなかったので、身長181センチで体重が60キロ台。よく、背伸びをして、脳貧血を起こして、倒れていた私でした。でも、空手道部に入り、先輩方にかわいがっていただいたおかげで、体力もつきました。

その当時、川崎医大の空手道部は、京都に本部を置く「陰陽流拳法空手術道」と言う中国拳法の流派に所属していました。なぜその流派だったかは省略しますが、その道場におられた大濱正師範代と、運命的に出会ったのです。大濱先生は、川崎医大の空手道部の監督として、月に一回、京都から倉敷まで指導に来てくださいました。西医体にも同行し、春や夏の合宿にも、参加してくださいました。高知の桂浜での夏合宿や、成人の日に京都の渡月橋のたもとで桂川に入った寒稽古は、今でもいい思い出です。後で聞いた話ですが、大濱先生は、我々の指導に対して、交通費は自腹、もちろん時間もご自身で仕事の都合をつけて、来てくださっていました。その当時、商社に勤められていたのですが、その後「医学部の学生、医者生活を知らないといけない。」と、2年で商社をやめられ、京都の桂病院に、再就職されたのです。



大学時代 高知桂浜で夏合宿

川崎医大を卒業して、大阪市大の整形外科に入局し、2年間研修を受けました。3年目に、研究医として勉強させて頂いたのが、豊中にあった「林病院」でした。ここでまた、林敏夫先生との運命的な出会いがありました。林敏夫先生には、マンツーマンで手術や診療をご指導いただき、整形外科としての、基礎・基本をみっちり教いただきました。私は、その当時ほぼ病院に泊まりこんでいたので、夜の街にも、毎日連れて行っていただきました。それこそ、創世記の市整会の宴会や旅行にも、連れて行っていただきました。そんなある日、運動不足を感じた時に、しばらく離れていた空手をまたしたい気持ちになり、大濱先生に連絡を取った所、ご自身が「陰陽流拳法空手術道」から独立して、自分の流派「五形流躰道塾精気会」を起こした所という事で、私にもぜひ一緒にやってほしいと、逆に勧誘を受けました。林先生に相談した所、林先生はその当時剣道を熱心にされていたので、武道には凄くご理解があり、毎週土曜日、林病院のリハビリ室を、道場として開放してくださいました。

私が、林病院を退職して、阪堺病院に勤務するようになった頃、さすがに自分が勤務していない林病院に稽古に行かせていただくのは、気が引けるようになりました。そこで、近隣をあたってもらった所、豊中市立第一中学の体育館を貸していただける事になり、引き続き豊中での稽古を続けることが出来ました。平成元年に阪堺病院に勤務して、住まいを高石に移したのですが、それから15年間、



豊中道場で大濱宗家と模範演武

(16)

子供を連れて、毎週土曜日、豊中まで稽古に通いました。高石に越してから5年目、息子が幼稚園の年中になった時、大濱先生に相談して、自分の子供を含めて、近所の子供さんを集めて、高石で道場を開きたいと相談しました。幸い、娘の幼稚園時代の同級生のご父兄の会社が近所にあり、その会議室を、道場として貸してくださることになりました。私が、自分の道場を持ったのは、この時からです。それ以後、堺に住まいを移して、道場も堺へ移しましたが、現在も毎週木曜日、診療が終わってから、道場に向かいます。

空手の年齢に応じたの楽しみ方

空手は、現在スポーツとしてとらえられています。空手は、競技としては、相手と対戦する組手試合と、形の優劣を競う形試合があります。私は、形が苦手だったので、学生時代は、やはり組手の対外試合に出て、勝敗をきそい、試合に勝つことが目標になり、試合に勝つことに喜びを感じたものでした。大学を卒業し、所属した大濱先生の道場の本部が高槻市にあるので、毎年高槻市の空手道選手権大会に出ています。当初は、大会ドクターと、選手と兼任です。他の大会の委員の先生方には、「はよ、負けてくれよ。でないと、けがした選手を診るやつがおらん。」と、良く言われたものでした。数年間は、自分が出ることが楽しみでしたが、その後、道場生を指導するようになり、道場生の成長を見るのが楽しみになりました。今の年齢になると、道場生の成長も楽しみですが、今は自分の健康維持増進と、稽古の後の飲み会が毎週の楽しみになっています。

空手はスポーツの前に、自らを守る武術です。本来の武術としての意味合いを考えながらする稽古は、形の中に多く含まれています。今現在は、昔苦手だった形の稽古を、自分自身で楽しんでおります。

空手をして学んだもの

大濱正先生から、数々の事を学びました。それは、空手での話だけにとどまらず、人間として、また社会人としてどうあるべきかという教えました。

具体的な内容は、たくさんありすぎて語り切れませんが、私の心に残る事を2つ上げてみます。まず「継続は力」ということ。これは、ごく当たり前に、皆さんが言われることですが、「継続」ということは、常に更なる向上を目指して続けることであり、向上心の無い継続は、単なる惰性であり、いずれ飽きがきて、継続できなくなる。

物事を継続するためには、仲間を得て、目標をさだめ、その物事に対するわずかな情熱を持ち続けることが大切と言う事です。

もう一つは、指導者の心得です。リーダーの力量以上の組織はない。故にリーダーの質の向上が大切であり、組織はリーダーの力量以上には育たない。リーダーが成長しないと、それ以上に組織は成長しない。

これは、道場を組織としてとらえた場合、指導者が稽古を積まないと、それ以上に、道場生の伸びはないと言うことですが、この2つの言葉は、空手の道場だけでなく、仕事にも置き換えることができます。



子供の小学校のバザーでの演武指導



稽古風景

空手をして得たもの

何事も、長年継続と反復を繰り返していると、それなりの成果が出てきます。趣味の一つである空手道でも、例外ではありません。私は、先にも書きましたが、毎年高槻市で行われる高槻市空手道選手権大会の大会ドクターを、現在も続けています。平成8年の文化の日に、高槻市から文化功労賞と、高槻市教育委員会から教育功労賞をいただきました。

空手を続けているということで、スポーツ選手の気持ちが解ってもらえると、いろんなジャンルの選手の治療もさせていただきました。またその後も、良いお付き合いもさせていただいております。

大濱正先生は、還暦を期に、「五形流躰道塾精気会」の宗家を名乗られました。今でも、京都の大学の空手部の顧問も含め、週に7回指導に出向かれています。仕事では、京都桂病院で検診センターの事務長をされていたのですが、定年退職され、今はヶ丘厚生年金病院の検診センターの顧問をしております。

私も、回数はさすがに減りましたが、年に数回ご指導をいただき、一緒に食事をして帰ります。この歳になっても、新しい事を教えていただくことに喜びを感じ、また懐かしい話をあてに、一杯飲むことが楽しみでもあります。

平成5年に師範の免状をいただき、平成12年に5段をいただきました。5段は、正直、長年継続した功労賞としていただいたと、自覚しております。

亡くなられた林敏夫先生をはじめ、様々な方々と出会い、助けていただき、今の自分があります。指導した道場生は100名ぐらいでしょうか。その中から、数名指導者として、残ってくれているのは、ありがたいことです。でも、若い時に、家庭を捨てて、仕事と空手に没頭した時期があり、それを許してくれた家内には、大変感謝しております。子供が手を離れた今、できるだけ家内と過ごす時間を持つと努力している今日この頃です。



指導員稽古での記念撮影

お久しぶり、阿修羅さま

天野 祐一（昭和57年入局）

夏に傷めた左膝もあって、この秋は文化的にいろいろと思った。10月下旬の京都はライトアップの高台寺。翌日も東福寺と隣の御寺泉涌寺へ行き紅葉前の閑静な名刹を堪能した。奈良や京都にひょいと出かけられるのも大阪暮らしの特権である。

11月上旬は奈良国立博物館の正倉院展へ。いつもは2時間待ちの超人気展だが曇天の平日午後はずいぶん待ち時間が短縮された。待ち時間をネットで知ることができて便利。螺鈿飾りの鏡や蓮華をかたどった香盆の台、檜の和琴など、どれも見事な宝物。

次いで興福寺へ。ここは39年振りである。

前に来た時は紅顔の美少年で、元気いっぱいの高校時代である。クラスの校外学習で甘酸っぱい思い出も少しは蘇るのである。この日も修学旅行

で訪れている賑やかな中学生たちが思わず沈黙する荘厳な空間である。

一番お目にかかりたかったのは、八部衆のうちの阿修羅さま。昔に変わらず長く細い6本の腕と3面のお顔。眉のあたりに憂いをただよわせ、訴えるように真っ直ぐに見つめている。今や厚顔のオヤジと相成った私だが、しばし阿修羅さまと絡みあう視線に、知らず知らずのうちに心の奥に溜まって、自分でもどうにもできない事や、来し方行く末までも見通されている、そんな心境になってしまった。

阿修羅さまは変わらず、人は変わる、か。また、いつか来ようこの場所に。その時にどんな感慨が湧きあがるのか、楽しみにしていよう。



くるま道楽 8

阪本 博史 (昭和59年入局)

この時期の、車事情。

日本では、ハイブリット。ヨーロッパでは、ディーゼルと、ハイブリット。アメリカでは、無頓着…ガソリン消費に対する、「省エネ」の取り組み方です。

果たして、自動車のガソリン節約は、どの程度日本の経済に影響するのか？

わが国の重油年間輸入量209200万トンのうち、ガソリン、軽油で使用している割合は、どれくらいだと思います？ なんと、たったの0.3%です。

ちなみに、火力発電には、約10%、その他は、工業用動力、ボイラーなど、生産工程に必要な動力源です。したがって、燃費が30%良くなったとって、大して日本のエネルギー事情にはたいして貢献できません。トヨタのハイブリットは、ノンハイブリットの同等のくるまより、約80万から、150万円くらい高くなっています。100万円高くなっているとして、リッター150円のレギュラーガソリンで、約6500リッター分。結構車に乗るひとで、月に50リッター使用量が減るとして、130か月分、約10年乗り続けないと、ハイブリットの割高分は、回収できません。(燃料の節約効果も考えないといけないのですが、ハイブリットも乗り方次第で、渋滞ばかりだと燃費節約効果がありますが、高速や、巡航スピードが速く走れる道では、あまり燃費は伸びないようです。) ベンツや、クラウンなど大型の車では、ハイブリットは燃費節約より、馬力アップの効果が高いようです。最近F1もハイブリットエンジンの車が出てきています。ピットイン回数を減らす為の省燃費目的ではなさそうです。

さてみなさん、省エネ目的で買いますか、それとも、トヨタさんの売りに上げに協力するためにハイブリットを買いますか？

考え物です。

【ノスタルジックヒーロー】

ランチア ストラトス

アリタリア航空のカラーリングを施し、1974、75、76年と3年連続でワールドチャンピオンになったラリーマシンです。(写真参照)

2,4 l V6 190馬力 グラスファイバーボディ
車重870kg 最高時速225km/h 0-100 5.9秒 総生産台数492台

スペックからすると、現在のラリーカーと比べたらいした車ではありませんが、当時としては最先端のスペシャルマシンでした。何より、「あの形」が凄く、今でもうっとりしてしまうフォルムです。アリタリアのAのマークが赤、緑でペイントされ、デザイン的にもすばらしいクルマでした。もともとランチアというメーカーは、ラリーに力を入れていた会社でしたが、この頃から、FIATグループの傘下に入り、エンジンはグループからの提供になりました。同じ頃、フェラーリもFIAT傘下に入り、このランチアストラトスにはあの「フェラーリディーノ」と同じエンジンが載せられています。ここで一気にランチアのエンジンポテンシャルが上がり、以降、次々と優秀なラリーマシンを生み続けます。

ストラトスは、1979年までの5年間に、4回のワールドチャンピオンと、68回の優勝のタイトルを獲得しました。同じくまで、これほど長く、優勝を続けたマシンは、ランチアストラトスくらいでしょう。

【今回お薦めのくるま】

アメ車？

TPPが成立したら、アメ車でしょう。

キャデラックのセダンが、500万円くらいで買えるようになりそうです。

もともと、アメ車は、本国では非常に安く、フォード Mustangでも「2万ドルカー」といわれ、車は必需品との考えから、手に入れやすい値段設定

(20)

です。そのままの値段で日本へ入ってくれば、キャデラックも「アメリカのクラウン」ですから、こんなもんでしょう。

最近のアメ車は、いいですよ。燃費も悪くないし、故障も少ないし、サイズも小さいし、そのすじのかたもあまり乗っていないし……

TPP成立で、お安くなったら、買い物かもしれません。ちなみに、85歳の父がキャデラックのクーペを最近買って乗っていますが、少々ぶつけてもからだだけは大丈夫そうなので安心してます。



さあW杯！！

木下 裕介（平成7年入局）

日本時間12月7日未明W杯組み合わせ抽選会が行われました。抽選の仕方は実に公平だと思います。最終的に参加32カ国をA～Hの8つのグループに分けるのですが、まず第1ポットから第4ポットまで8カ国の4つのグループに分けます。第1ポットはいわゆるシード国で開催国とFIFAランキングの上位国が入り、開催国ブラジルは第1ポットのA組に入る事が抽選前から決まっています。第2ポットから第4ポットは大陸ごとで分けられグループリーグで対戦しないように組み合わせられます。日本は第3ポットに分けられアジア、北中米と同じポットに入りました。僕が気になっていたのは、第4ポットの欧州です。第1ポットから漏れた欧州出場国が9カ国ありこのうちの1カ国が抽選で第2ポットの南米・アフリカにまわることです。日本にとって（日本以外の国にとっても）最悪の組み合わせは第1ポットで南米の強豪国、第2ポットと第4ポットで欧州の強豪国と当たることです。

抽選の結果グループC、コロンビア、ギリシャ、コートジボアールと対戦することになりました。僕が気にしていた最悪のくじを引いたのはグループDのコスタリカでした。コスタリカの次に気の毒なのはオーストラリアだと思います。逆に幸運な組み合わせになったのは、なんと言っても韓国です。グループHでベルギー、アルジェリア、ロシアと対戦します。ベルギーが強いと考えられま

すが、グループリーグは十分勝ち上がれると思うし1位通過も可能だと思うからです。

では、日本はどうでしょうか？多くのメディアは、悪くない組み合わせと評価しています。僕もその通りだと思います。ただ日本以外の3カ国も幸運な組み合わせと知っているに違いありません。そして決勝トーナメントに勝ち上がるには、日本に勝つことが最低条件と考えているでしょう。だから日本戦は守らず超攻撃的に攻めてくると思います。そこが狙い目です。しっかり守ってスピードとパスで相手を翻弄し点を取る。ここにつきますと思います。グループリーグで最下位になる可能性もありますが、1位通過する可能性もあると思うので、しっかり戦い決勝トーナメントに進んでもらいたいと思います。

次に優勝候補は？当然ブラジルです。ブラジル国民は優勝以外考えていないでしょうし恐らく全勝優勝するくらいに思っていると思います。そしてブラジルを追いかけるのが、スペイン、ドイツ、アルゼンチン、ダークホーク（台風の目）になりそうなのが、フランス、ベルギー、ウルグアイと思っています。特にウルグアイはおもしろそうです。

6月13日ブラジルVSクロアチア戦で開幕です。4年に1回の約1ヶ月間を思いっきり楽しみたいと思います。



おすすめCD

宮脇 裕二（昭和55年入局）

今回はよく耳に聞きなれた曲を別のアレンジで楽しむと言う観点でCDを選んでみました。我々オヤジ世代が歌うと、何かしら非常に力が出てくる歌があります。その代表として挙げられるのが、中島みゆきの“地上の星”です。ただこの曲を車の中で1人で運転して聞いている時は良いのですが、同年代ではなく、若い世代の同乗者がいると少し格好悪い思いをさせていただきます。そこでこの“地上の星”の曲を全編英訳してロック調の歌として収録したCDがあります。

“Mr. Vocalist 3”（写真①）というCDでEric Martinという歌手が歌っています。このCDの中には“地上の星”以外に“三日月”とか“また君に恋してる”その他“涙そうそう”など全て歌詞が英訳されたバージョンで入っています。私もこのCDを最初はロックの何かの曲がかかっているだろうと思っていましたが、よくよく聞くと聞きなれたメロディーが次々と流れてくるのがわかりました。ぜひいちど聞いてみて下さい。

“Mr Vocalist”には主に女性歌手の曲がカバーされています。男性歌手の曲がカバーされているCDはDebbie Gibsonが唄う“Ms. Vocalist”というアルバムがあり、其の中には“TSUNAMI”や“SAY YES”などが入っています。

次にジャズボーカルから1枚紹介いたします。ジェイミーポールと言う1977年生まれのアメリカ人のジャズボーカリストです。ハスキーな歌声と圧倒的な声量で評判を呼んでおりました。彼女の最新のCDでは映画007シリーズのテーマ曲のカバー集“007を歌うージェームズボンド音楽に捧ぐ”と言うCDです。曲名はすべて007のテーマ曲ですので超有名な曲ばかりです。特に“Gold Finger”や“ロシアより愛をこめて”は聞き慣れたシェリーバッチャーやマットモンローとは全く違うアレンジでしていますので非常に新鮮に聴こえると思います（写真②）。

最後に今回の中で私のいちばんの愛聴盤あるいはうちのクリニックでいちばん流れているCDなのですが、クレモンティーヌのアニメソング集です。これは三浦友和のノンアルコールビール、オールフリーのCMのバックで流れる天才バカボンの曲で初めて知ったのです。歌っているのはフランスの歌手でフレンチポップスの歌姫とも言われるクレモンティーヌという歌手です。彼女は日本のアニメおたくとして有名で、このCDにはバカボンのテーマのフルバージョン、すべてフランス語、が入っていてこの囁くような歌い方にはすっかり癒されてしまいます。このCDの中にはバカボン以外にドラえもんやゲゲゲの鬼太郎、アンパンマンのテーマ、宇宙戦艦ヤマトなど多くの曲が含まれています。全てフランス語でボサノバ調で歌われています。当院でこのCDをリハビリ室でよくかけていますが、非常に好評でどんなCDかといつも尋ねられます。私としては今いちばん癒されるCDと思っております（写真③）。



写真①



写真②



写真③



編集後記

新年あけましておめでとうございます。

今回は皆様のご協力を得て、多数の投稿が集まりましたので非常に充実した会報になりました。会報を見ていただければ、今年1年の市整会の行事の数々や、参加された方から、あるいは主催された方からのそれぞれのお話が伺い知れると思います。

1月の学術講演会と新年会にはじまり、ゴルフで幕を閉じた市整会の各行事ですが、特に、学術

の担当の先生のご努力で、数々の学術集会で非常に有益な講演を拝聴する事ができました。また楽しかった行事としては、大川、桑野両先生に、秋の京都での家族会の様子もかなり詳しく書いていただきましたので、参考にされて次回の家族会にぜひ参加をお願いしたいところです。本年も市整会行事へのご参加よろしく願いいたします。

広報：宮脇裕二